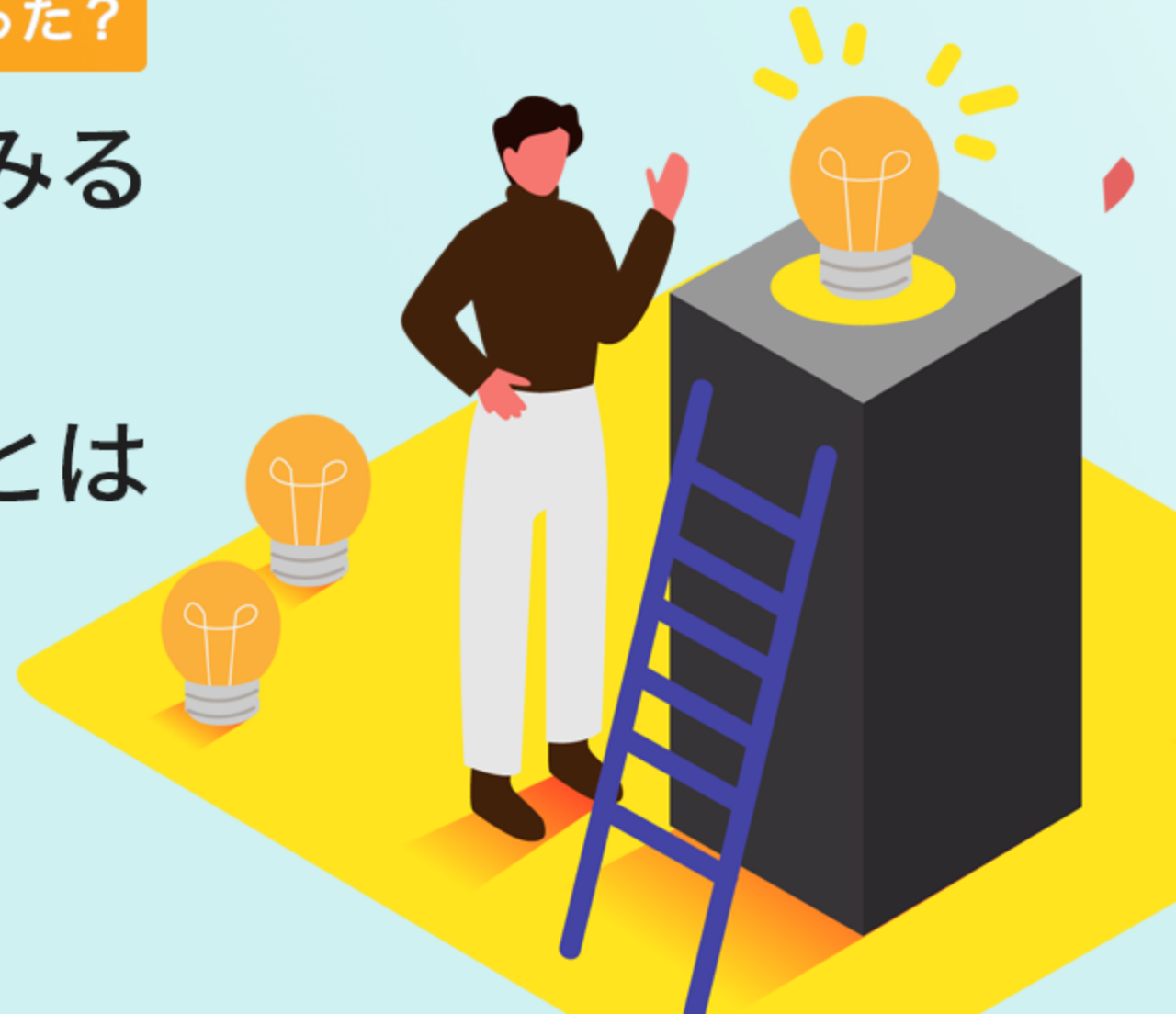


PC・スマホ管理クラウド化して実際どうだった？

移行したお客様の声からみる
IT資産管理ツールを
クラウド化するメリットとは



はじめに

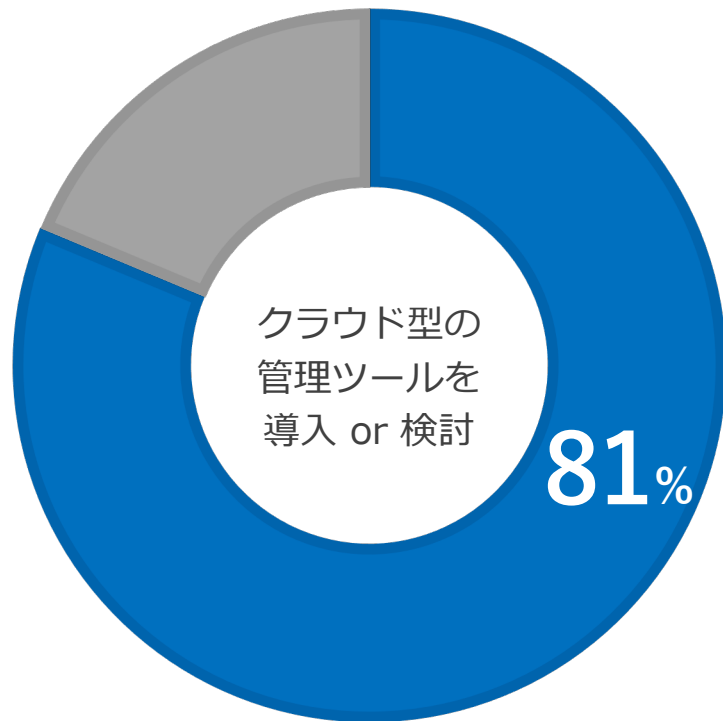
近年、働き方の多様化やクラウドシフトの加速に伴い、IT 資産管理ツールもクラウド化が進んできています。しかし、クラウド移行を決定したとしても、現在の課題が本当に解決されるのか、運用がスムーズに行えるのか、セキュリティ面での不安はないのかといった疑問や懸念が存在します。

本資料では、そんな気になる疑問や懸念を解決するための情報を、実際にクラウド移行を経験したお客様の事例を交えて詳しく紹介します。具体的な運用例、コスト削減、セキュリティ対策など、クラウド移行に関する様々な側面をご紹介します。

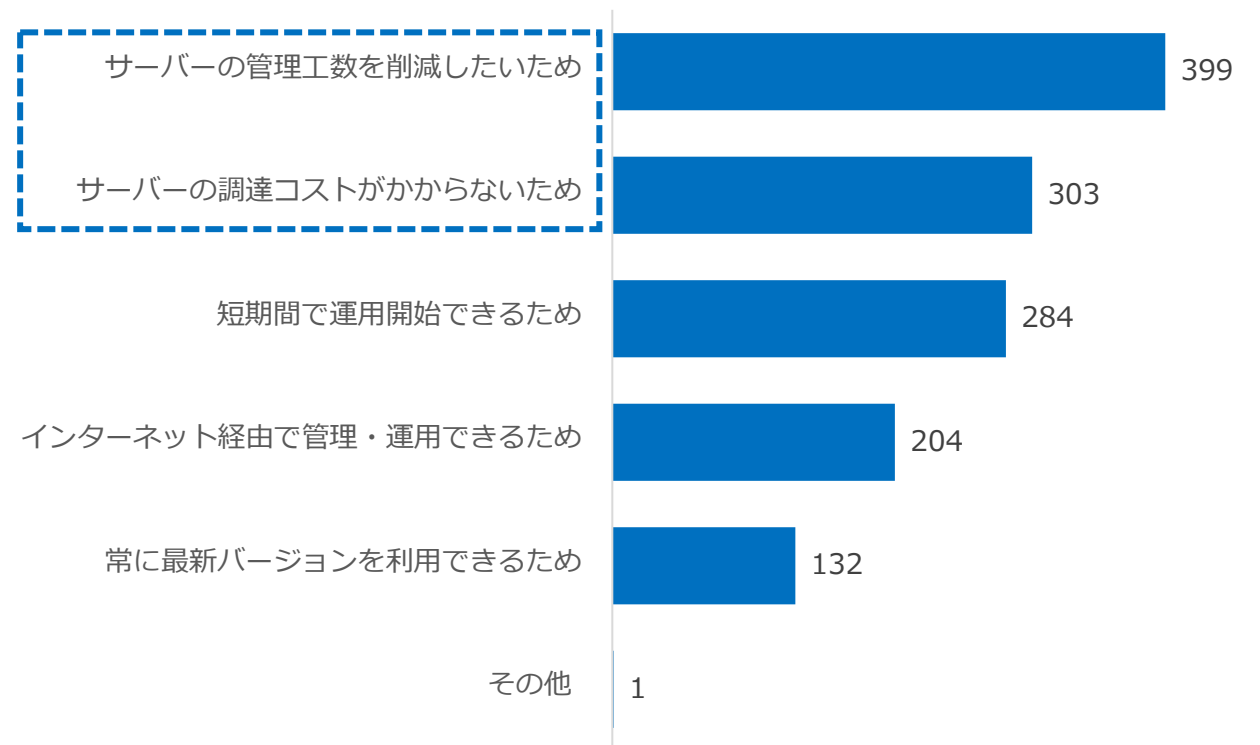
また、クラウド移行する前の課題と移行後どのようなメリットを得られたのかもご紹介しています。本資料は、クラウド移行後の運用イメージをまだお持ちでない方でも、クラウド移行に関する疑問や懸念を解消し、より効果的なクラウド移行の参考となれば幸いです。

80%以上が IT 資産管理ツールのクラウド化を検討 サーバー関連コストの削減がクラウド検討の大きなポイント

導入（予定・検討も含む）しているのは、
どの IT 資産管理（PC 管理）ツールですか？（n=828）



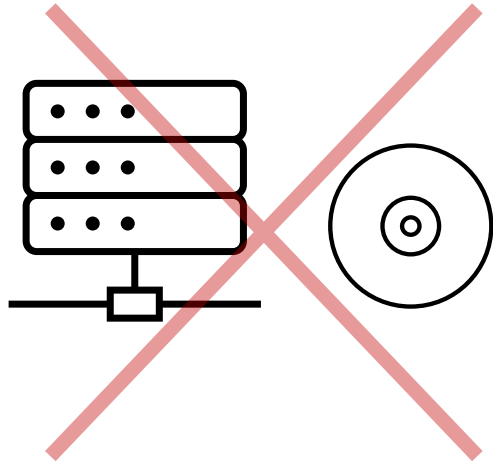
クラウド型の IT 資産管理ツールを導入（予定・検討）
している理由として、当てはまるものを教えてください（n=828）※複数回答可



* 「IT資産管理（PC管理）ツールのクラウド移行実態」に関する調査エムオーテックス調べ（モニター提供元：ゼネラルリサーチ株式会社）

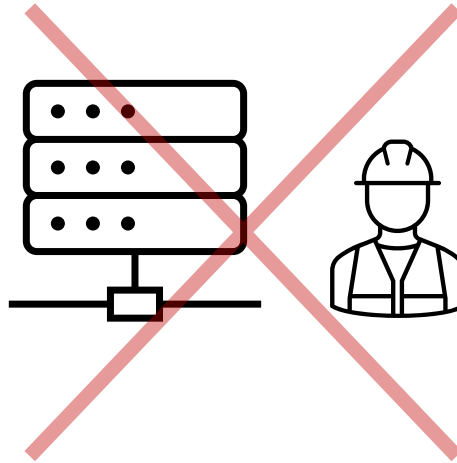
オンプレミス型の IT 資産管理ツールでかかっていたサーバー関連コストが、
クラウド型の ツールであれば一切発生しません

サーバーの調達・構築



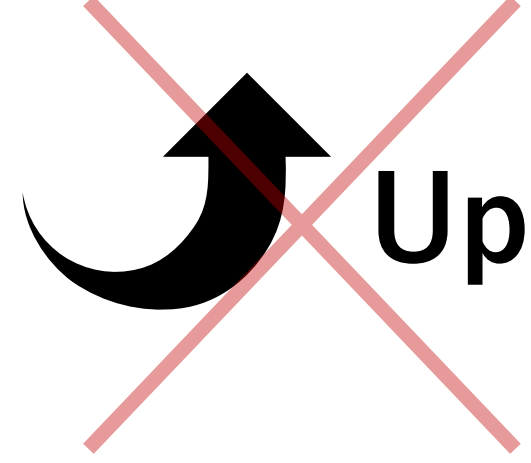
サーバーリプレイス時は調達コストや
ツールのデータ移行・構築作業が発生

サーバーの運用・保守



サーバーへのセキュリティ対策や
ディスク容量の確保などのメンテナンス

ツールのアップデート作業

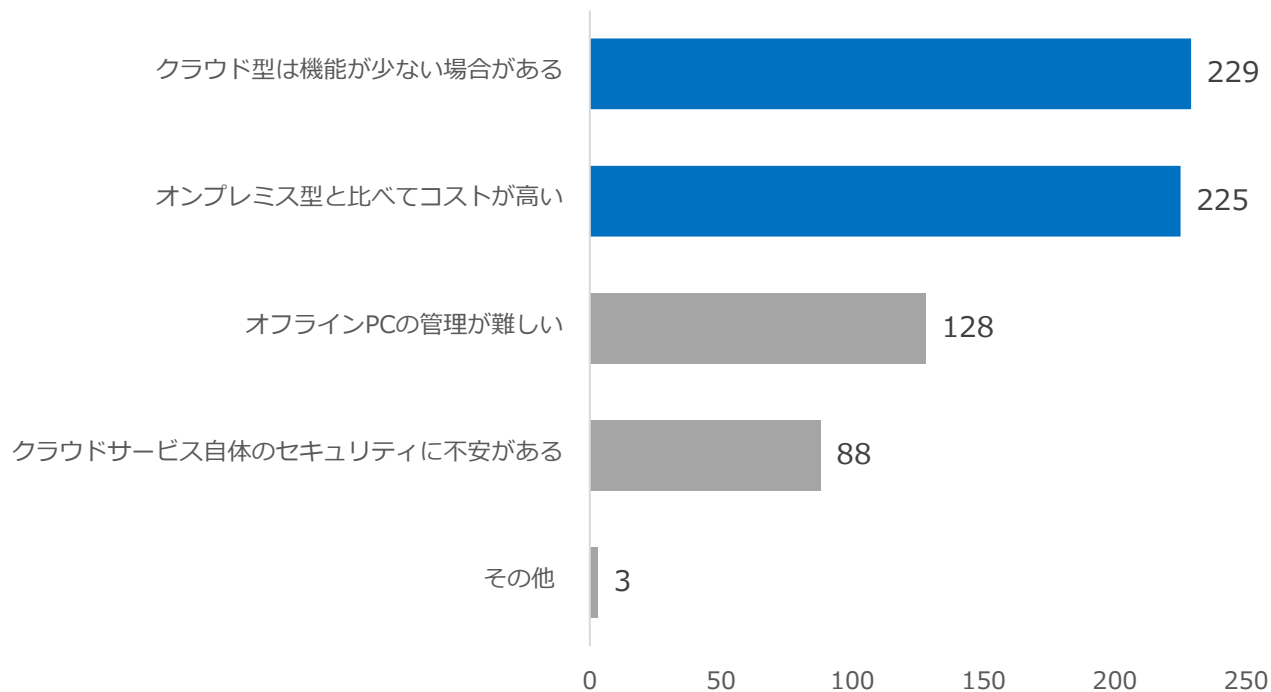


ツールの最新バージョンを利用するための
サーバー側でのアップデート作業

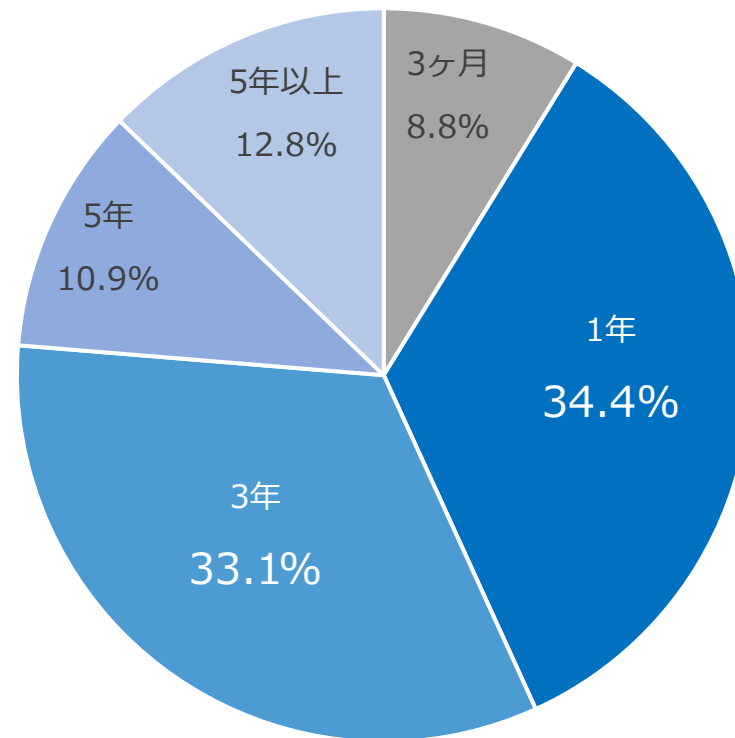
サーバーメンテナンス無しで常に製品の最新機能を利用できます！

IT 資産管理ツールのクラウド検討における不安は「機能が少ない」「コスト」の2点 取得した操作ログの保存期間も移行のネックになりやすい・・・

IT 資産管理（PC 管理）ツールのクラウド化
においてどのような点が課題ですか？（n=673）※



IT 資産管理ツールで取得した PC の操作ログは、
どのくらいの保存期間が必要ですか（N=828）



機能が少ない → 操作ログ・セキュリティなど PC 管理に必要な機能を網羅した「充実の PC 管理」

エンドポイントマネージャーは、Windows・macOS 管理に必要な機能を網羅。

IT 資産管理ツールとしては欠かせない 操作ログ取得機能も実装。

01 | 資産管理

Windows

macOS

デバイスのハードウェア情報／設定情報を自動取得。自動取得できない項目は任意項目として管理。資産台帳を効率的に作成します。

02 | セキュリティ

Windows

macOS

OS によって必要なセキュリティ対策は異なります。Windows のアップデート管理や記録メディア制御、macOS のシステム利用制御、ドライブ・ディスク暗号化の運用に必要な機能をエンドポイントマネージャーで提供します。

03 | 操作ログ

Windows

macOS

内部情報漏洩対策として欠かせない PC の操作ログを自動取得します。取得したログは最大5年分の保存が可能です。また、働き方の見える化を実現するレポートを自動作成し、従業員のマネジメントにも活用できます。



オンプレミス版と比較し、同等の操作ログ取得が可能
 取得したログは標準で2年、オプション導入で最大5年まで保存可能

取得できるログの比較	オンプレミス版	クラウド版
ログオン・ログオフ	●	●
ウィンドウタイトル（アプリ利用）	●	●
ファイル操作	●	●
外部記憶媒体への書き込み	●	●
プリントログ	●	●
Wi-Fi, Bluetoothなどの接続	●	●
Web アクセスログ	●	●
アプリ稼働・アプリ通信	●	オプション

The screenshot shows the LANSCOPE web interface with the 'ログ' (Log) tab selected. The main area displays a table of log entries for the user 'MO一郎' on 2022/08/24. The table columns are: 日時 (Date/Time), 使用人名 (User Name), ログの種類 (Log Type), イベント (Event), タイトル (Title), and ファイルパス (File Path). The log entries include file operations (creation, deletion, movement, copying), security alerts (脅威検知), and web access (CD Writing Soft WebSite).

お客様の声



取得できるログの種類はもちろん、標準機能で2年分のログを管理コンソールから確認したり、CSV 出力できる点大きい。

2020年10月に Windows 操作ログ取得機能を実装後も、機能追加を継続的に実施。
これからも、PC・スマホ一元管理に必要な新しい価値をお客様に提供し続けます。

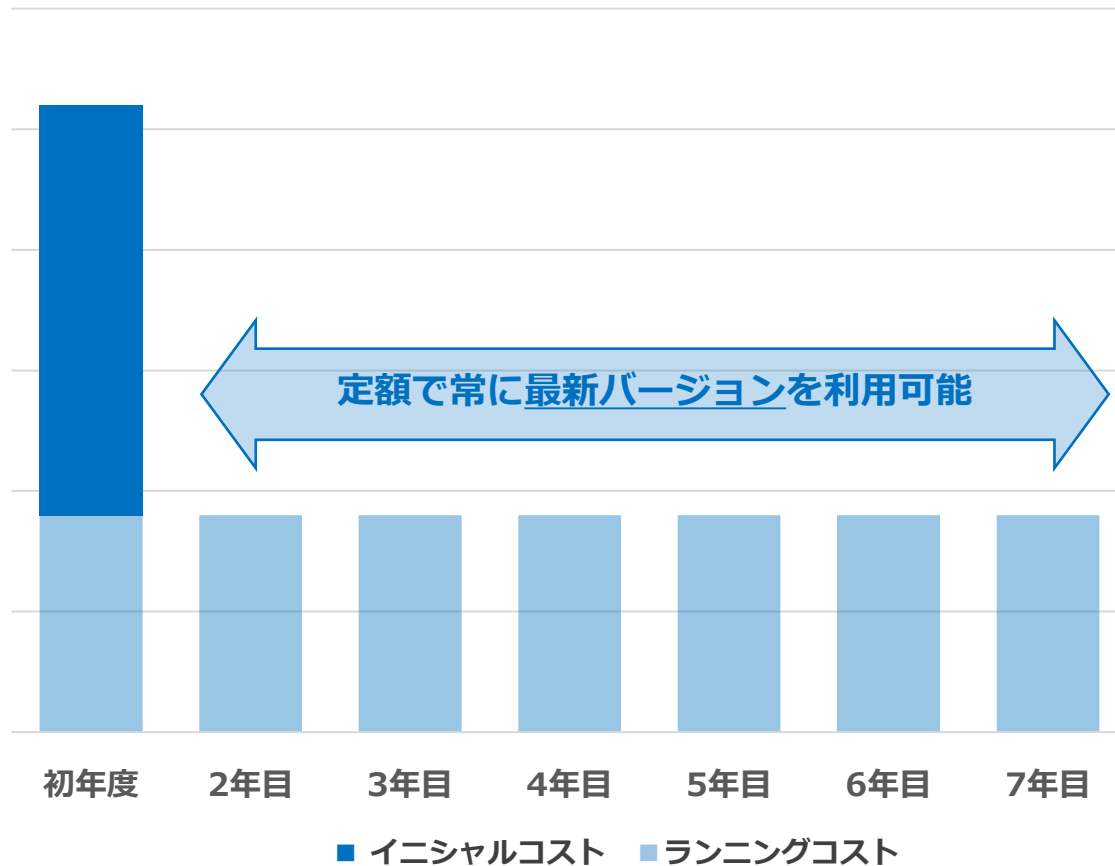
リリース時期		対象 OS	実装内容
2020	10月	Windows	操作ログ・レポート
2021	3月	Windows	記録メディア・通信機器接続制御
		—	資産情報取得 API の公開
	5月	—	管理コンソール上での「お知らせ」通知
	8月	—	管理コンソール IP アドレス制限
	9月	Windows	Windows アップデート管理
	10月	Android	Android Enterprise「キオスクモード」
	12月	Windows	操作ログ長期保存（標準2年、ログ運用 OP 購入で最大5年保存）
2022	3月	Windows	クライアント マスタ展開対応
	4月	macOS	アプリ配信・プロファイル配信・自動デバイス登録
		Windows	ログ検索の対象期間を延長（標準2年、ログ運用 OP 購入で過去5年分）
	6月	Windows	Splunk 連携（操作ログ転送）
	9月	macOS	操作ログ・記録メディア制御・Splunk 連携
	10月	Windows	Deep Instinct 連携
	11月	全OS	「SARMS CLOUD R2」連携

リリース時期		対象 OS	実装内容
2023	1月	—	稼働状況サイトの公開
	2月	—	管理コンソール パスワードポリシー
		—	管理コンソール 2要素認証
		—	管理コンソール 操作ログ
	3月	Windows	API でバッテリー情報・S.M.A.R.T情報の取得に対応
	6月	Win mac	操作ログアラートレポート
		Windows	ChatGPT 書き込みログ（Edge, Chrome 対応）
		Windows	PIN コード認証利用時の BitLocker 回復キー取得
	8月	iOS/macOS	緊急セキュリティ対応が適用された OSバージョンの取得
		Windows	ChatGPT 書き込みログ（FireFox 対応）
	11月	Windows	クラウドストレージ経由のファイル配信
		—	API でお知らせ・障害情報の取得に対応
iOS		Managed App Configuration に対応	

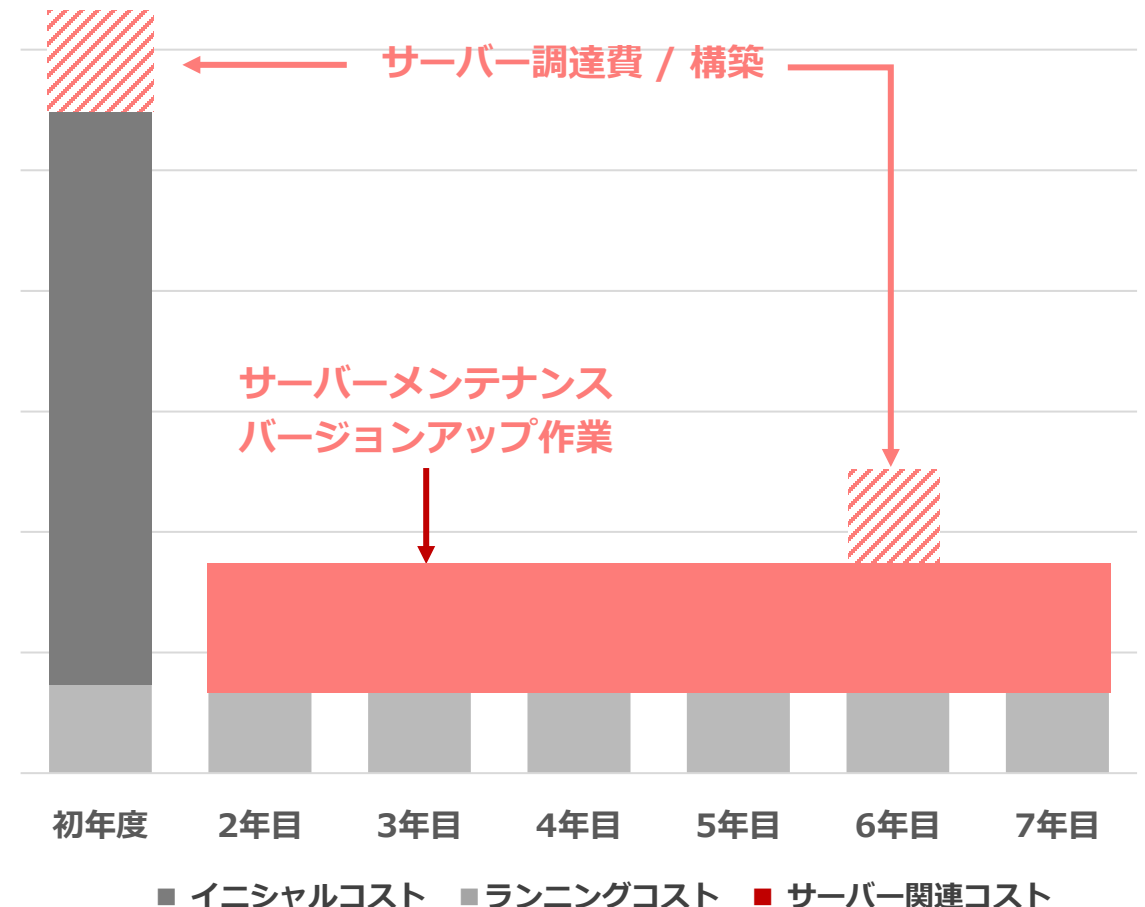
オンプレミス型と比べてコストが高い → ライセンス費用だけを見れば高額だが…

クラウド版はサーバー関連コストは一切不要
さらにライセンス費用のみで、常に最新バージョンを利用できる

<エンドポイントマネージャー クラウド版>



<オンプレミス製品>



テレワークなど多様化する働き方に合わせた デバイス管理とサーバーの運用負荷を削減



株式会社ユーグレナ 様

本社所在地 東京都 事業内容 微細藻類等の研究開発、生産

管理台数 690台 管理OS Windows

主な導入目的 IT 資産管理として導入

事例内で紹介している機能

IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者様の話)

エンドポイントマネージャーは PC 管理の機能が充実している点に加え、スマホも合わせて管理できる点が大きな魅力でした。また、サーバーメンテナンスを考えずに長期的・安定的にログが保存できることも、導入の決め手のひとつとなった。

課題

- 業務環境の変化により、オンプレミス型のIT資産管理ツールでは、PC 操作ログ等のリアルタイム取得が困難になったこと。
- 業務端末の増加に伴い、ログを保存するサーバーの容量がひっ迫し、メンテナンス・運用にかかる工数が增大。

採用理由

- PCだけでなくスマホも一元管理できること。
- 充実した機能や使いやすさとサーバーメンテナンスを考えずに長期的・安定的にログが保存できること。

導入効果 今後の展望

- クラウド型に移行したことで、リアルタイムかつ正確に IT 資産の状況が把握できるようになったこと。
- Windows アップデートの適用状況の把握ができるため、対応期日を過ぎても Windows アップデートが適用されていないデバイスを利用している社員に対し、適切なフォローができるようになったこと。
- スマホ管理もエンドポイントマネージャーに統合を検討。クラウドの強みを活かし、セキュリティ体制の再構築を予定。

運用負荷の軽減やコンプライアンス強化に エンドポイントマネージャー クラウド版が貢献



株式会社東京カンテイ 様

本社所在地 東京都 事業内容 不動産情報サービス、不動産鑑定評価

管理台数 380台 管理OS Windows

主な導入目的 IT 資産管理ツールとして導入

事例内で紹介している機能

IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者の話)

機能面では、PC の操作ログ取得機能は欠かすことができない要件だった。この点で SaaS 製品かつ操作ログまで取得できる製品は少なく、選定の早い段階からエンドポイントマネージャーに絞られていた。

課題

- これまで利用していた IT 資産管理ツールのサポートが終了することをきっかけに製品の入れ替えを検討。

採用理由

- 従来の IT 資産管理ツールで実現できていた機能が実装され、かつ簡単なインストール手順でリプレースできること。
- 管理コンソールの直感的な操作性。
- これまでできていなかった Windows のビルド番号の可視化やエージェントのアップデート自動化といった付加価値。

導入効果 今後の展望

- BitLocker 回復キーの自動取得で、PC 復旧時の対応工数削減。
- 取得したログの保存期間は2年、定期的にログデータを出力、コンプライアンス上の対応がより確実になったこと。
- エージェントの自動アップデートで、管理ツールそのものの運用工数の削減。
- 今後は Active Directory で行っている USB などの記録メディアの制御もエンドポイントマネージャーで統合管理を予定。

オンプレミス型のIT資産管理ツールから移行し サーバーの管理コストや運用負荷を軽減



株式会社インブルーミー 様

本社所在地	北海道	事業内容	化粧品及び原材料の輸出入業務及び仕入・製造・販売
管理台数	40台	管理OS	Windows
主な導入目的	IT 資産管理として導入		

事例内で紹介している機能

IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者様の話)

機能面が優れていると感じた。従来利用していたオンプレミス型のIT資産管理ツールと同等の機能が網羅できること、そして、クラウド型製品のためサーバー管理が不要で、そのコストの課題も解決できることから選定した。

課題

- サーバーの管理やツールのアップデート作業など、IT資産管理ツールを運用するためのメンテナンスが管理者の負担となっていたこと。PC端末の操作ログデータを保存するため将来的にサーバー管理コストが増加してしまうこと。

採用理由

- 取得できる操作ログの種類が豊富であったこと。
- 従来利用していたオンプレミス型のIT資産管理ツールと同等の機能が網羅できること

導入効果 今後の展望

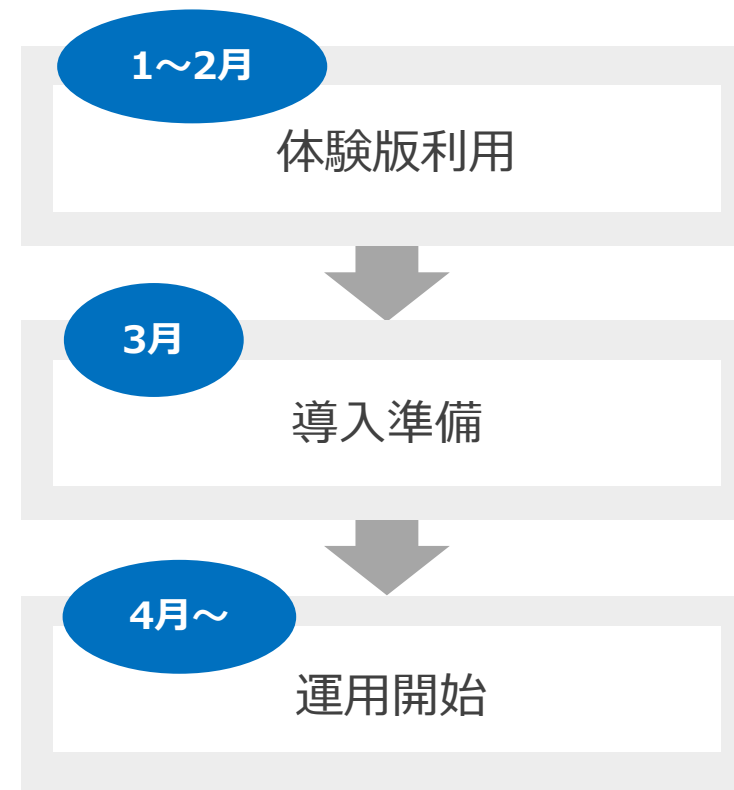
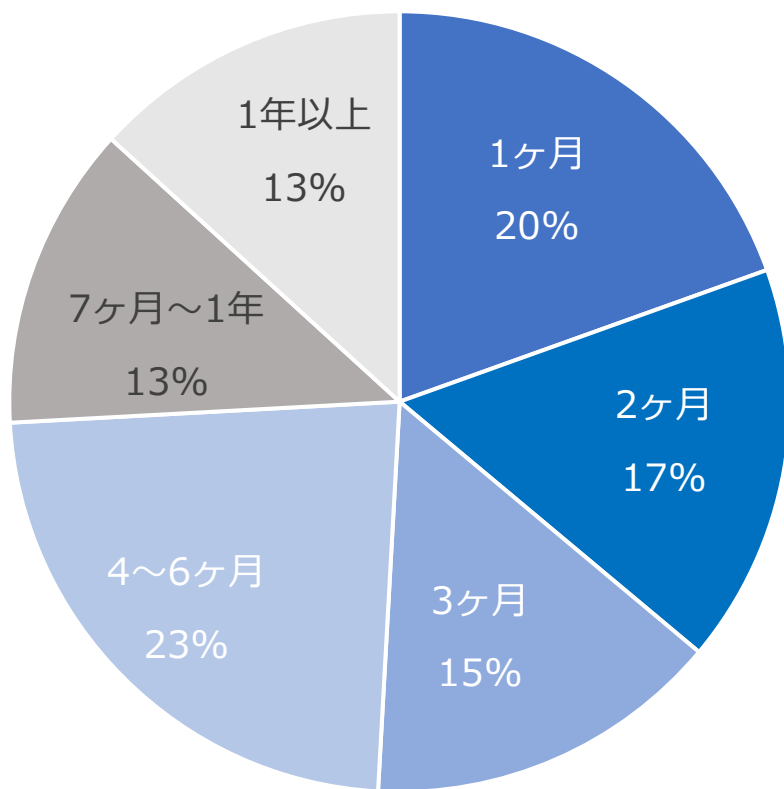
- **サーバー管理費用が不要となったため、大幅にコストを削減できた**
- セキュリティパッチの適用も、エンドポイントマネージャー導入前は動作確認から適用までを管理者である自分が行っていたが、今はエンドポイントマネージャーで配信・適用ができるようになり、作業の効率化につながった
- 位置情報の取得機能の利用など、エンドポイントマネージャーをPC端末紛失時の対応フロー確立に役立てたい

クラウド型ツールなら利用したいタイミングで始められる

半数以上のお客様が検討開始から3か月以内で導入。今から検討を始めても、4月からの運用開始が可能です。

新入社員の受け入れ等で、管理デバイス数が増える新年度からの運用も間に合います！

エンドポイントマネージャーの検討から導入まで期間※



体験版利用環境を、そのまま本番運用に移行できます

Endpoint Manager Cloud

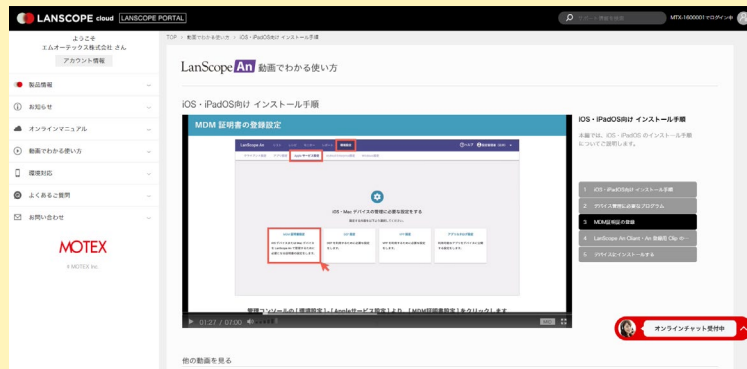
60日間無料体験キャンペーン中

エンドポイントマネージャー クラウド版の体験版は、設定したポリシーや取得した情報を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。また体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメールで問い合わせが可能。体験期間中は、マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。

●各種マニュアル・問い合わせが可能



●動画で設定方法を説明



<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-06-21/c55z>



製品に関するお問い合わせ

■ 営業本部

大阪本社 06-6308-8980
東京本部 03-3455-1811
名古屋支店 052-253-7346
九州営業所 092-419-2390
E-mail sales@motex.co.jp

ご導入後の製品利用に関するお問い合わせ

サポートセンター 0120-968995（携帯・PHSからは06-6308-8981）
お電話受付時間 9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）
Email お問い合わせ support@motex.co.jp

- ・記載の会社名および製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- ・製品の仕様・サービスの内容は予告なく変更させていただく場合があります。
- ・MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。